

キャリア教育の視点に立った学校運営と研究推進

愛媛大学教育学部附属特別支援学校
連絡先:副校長 渡邊恵理

学校の教育目標

たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成
～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～

小学部

生活単元学習

中学部

人と関わりながら身近な地域に貢献する活動により、自分の役割を果たす大切さに気づく。



作業学習

高等部

中学部・高等部



中学部・高等部の合同作業学習で、リーダーシップや相互の信頼関係を育む。

クリーン作業班が、愛媛大学環境整備室で働く先輩からプロの技を教わる。

愛媛大学 環境整備室への就労

愛媛大学と連携して卒業生の大学職員としての雇用を促進し、実現してきた (H21. 4. 1 愛 CLEAN 発足)。現在 17 名の卒業生が大学で環境整備の仕事に従事している。

愛媛大学
人事課

環境
整備
室

愛 CLEAN

14 名

本部・教育学部・法文学部の環境整備

愛 AGRI

1 名

農学部の環境整備

愛 FUZOKU

2 名

附属学校園の環境整備



< H29 就労している卒業生数 >



- ・授業づくりの3つの柱 「A 単元・学習内容設定の工夫」「B 学習環境・支援の工夫」「C 評価の工夫」を設定し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり
- ・12年間の一貫性・系統性のある教育の実践
- ・国立特別支援教育総合研究所の研究協力機関(H25～28)としての研究成果を全国に発信

研究推進：子どもの内面に働きかける確かな学びの実現

地域のモデルとなる研究推進・連携

教育委員会や地域との連携



県教育委員会主催の
初任者研修

- ・県や市町教育委員会主催の現職教員研修の実施協力
- ・地域とコラボレーションした教育活動
- ・就労支援に関する取組の地域発信



就職支援ネットワーク会議
(就労に関する意見交換)



企業と連携した料理
教室(社員教育の場)

愛媛大学・附属学校園との共同研究・連携

- ・愛媛大学教員との共同研究
- ・大学や大学院の授業のフィールドとしての受入
- ・附属学校園における特別支援教育のセンター的機能の発揮(支援会議、教職員研修の実施等)
- ・就労に関する連携(課題の検証)と大学就労



大学教員と共同開発した「ならい加工機」を使った作業学習



大学院生の附属を活用したフィールド演習